



クローズアップ CLOSE UP

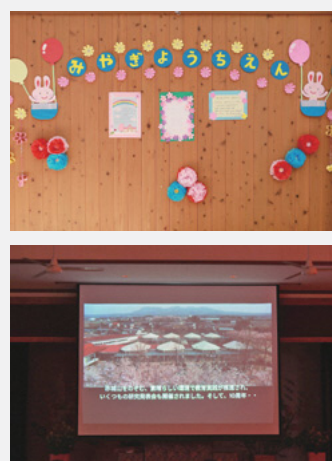
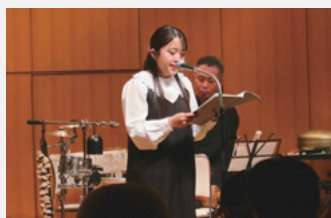
開駅1周年サンキュー

3月21日で開駅1周年を迎えた道の駅まえばし赤城が3月20日から24日まで感謝祭を開催しました。お笑い芸人・パンサー尾形 & 尾形軍団によるサンキューステージや赤ちゃんたちが競うハイハイレースなどを実施。会場には大勢の人が来場し、1周年を祝いました。



青猫の背景をひも解く

前橋文学館で『青猫』刊行100年記念展BLUE MELANCHOLIE『青猫』が『定本青猫』に辿りつくまで』を5月26日(日)まで開催しています。作品朗読会やワークショップの関連イベントも実施。原稿や資料をはじめ、音や映像を使った展示もあります。



こどもたちと共に49年

旧宮城村の村立幼稚園として昭和50年に開園した宮城幼稚園が、3月31日で49年の歴史に幕を閉じました。3月22日には年長と年中の園児9人と保護者などが参加し閉園式を開催。卒園児などの写真をつづったビデオ上映や園児たちの元気な歌声で別れを告げました。

CITY WATCHING

本市の観光大使・ローズ・クイーンとして活動する茂木さんと上原さん。第30代目の節目となるコンテストで昨年6月に就任し、県内外に本市の魅力をPRする活動をしている。地元での活動の機会を広げたいと思い応募した二人。人前に出ることがあまり得意ではなく最初はイベントなどで緊張していたという。

「最初は緊張してしまう自分が嫌でした。しかし経験を重ねるうちに、緊張している中でも楽しめている自分に気が付き、緊張することは悪いことではなく、意味があることだと思えるようになりました」と茂木さん。周りの人に支えられ、時には励まし合いながら、さまざまな活動を続けてきた。

いきいき
まえばし人
第30代ローズ・クイーン
茂木 春香さん・23歳
上原 珠佳さん・19歳

活動を通して本市をもっと好きに



撮影：CORY LUM

「四月の雨が五月の花を連れてくる」ハワイで生まれ育った私は、春になるとこのフレーズをよく耳にしました。観光客がハワイの空港に到着するとレイで迎えられるシーンがイメージしやすいですが、祝いごとにレイを贈ることが多くあります。高校や大学の卒業式では、卒業生の顔が見えなくなるほどのレイを首に掛けます。材料は花だけでなく、クイナッツやキャンディー、お金なども使われ、ハワイ

市国際交流員から見た本市の魅力や母国の文化などを紹介するコーナー。今回はハワイのレイ文化を紹介します。



Vol.1 ハワイのレイ文化
国際文化課
☎ 027-898-6516

発祥のフラダンスにも不可欠なアークセサリーです。手作りかどうかにかかわらず、愛情表現として認識されているレイ。生花のレイは長持ちしない、はかない贈り物だからこそ、大切な人にもらった時の喜びもより大きくなります。

5月1日は、ハワイでは90年以上の歴史を持つ日。アメリカ本土と違いメーデーではなくレイデーと呼ばれています。レイやレイメーカー、ハワイアン文化を祝うために設けられたこの日には、レイデー・セレブレーションという祭典があります。レイ・コンテストが開催され、フラのパフォーマンスやハワイアンミュージックの生演奏も楽しめます。6月1日には板橋区立文化会館でハワイアンカルチャーを祝うMay Dayイベントが開催されます。この機会にレイ文化に触れてみてください。



昨年5月撮影